

岐阜大学医学部附属病院の入院診療を受けられた患者さんへ

「**外因性脊髄損傷患者における血清ナトリウム変化量の探索**」への協力をお願い

岐阜大学大学院医学系研究科感染症寄附講座では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2005年4月1日～2023年3月31日の間に、岐阜大学医学部附属病院において、脊髄損傷に対して治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2026年3月31日

研究目的・利用方法：

脊髄損傷患者では、血中の電解質バランスが崩れてしまうことがあり、特に血液中のナトリウム濃度が低くなりやすい(低Na血症を発症しやすい)ことが知られつつあります。低Na血症を発症すると、死亡率上昇などの予後が悪化することが分かっています。脊髄損傷における低Na血症の発症リスクや機序に関しては未だ不明なことが多いです。

本研究では、脊髄損傷患者における低Na血症に関して過去のデータから検証することで、脊髄損傷患者における低Na血症の発症リスクや予後との関わりなどに関して明らかにすることを期待します。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、電子カルテより取得します。これらは全て日常診療で実施された項目です。

- ・診断病名、外傷受傷部位、外傷スコア(AIS、ISS、RTS、Ps、TRISS)、受傷機転
- ・受傷日の年齢・性別、身長・体重、基礎疾患、内服薬、アレルギー、ADL・IADL
- ・受傷時間及び受傷から当院受診までの時間
- ・入院期間及び高次救命治療センター入院期間、退院時転帰
- ・脊髄損傷の外傷(損傷の程度(ASIA分類及びFrankel分類)、高位、椎体骨折の有無)
- ・脊髄損傷以外の外傷
- ・入院期間中のバイタルサイン、尿量、使用薬剤・点滴、食事内容、超音波検査所見
- ・血液検査結果(Na、K、Cl、Ca、P、Mg、Alb、AST、ALT、BUN、Cr、血糖値、尿酸値、総ビリルビン、CRP、BNP、白血球数、ヘモグロビン、血小板数、PT、FDP、ATIII、血漿浸透圧、血液ガス、ACTH、コルチゾール、甲状腺ホルモン、ADH)
- ・尿検査結果(尿定性沈渣、尿Na、K、Cl、Ca、BUN、Cre、浸透圧)
- ・機械的デバイス(血液浄化療法、人工呼吸)使用の有無と使用期間
- ・中心静脈カテーテル留置及び尿道バルーンカテーテル留置の有無
- ・カテコラミン使用の有無、血液製剤使用の有無、手術加療の有無(手術を実施した場合にはその手術内容)、利尿薬使用の有無、ステロイド使用の有無

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせてください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出てください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

連絡先

医学部附属病院高次救命治療センター

電話番号：058-230-6448

氏名：三浦 智孝

研究責任者

医学部附属病院高次救命治療センター

氏名：三浦 智孝

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸1番1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@gifu-u.ac.jp